

飲食店の労働災害を防止しましょう！

～若年労働者、高齢労働者の労働災害が増加中～

大阪中央労働基準監督署管内における飲食店の令和6年10月末現在の休業4日以上¹の死傷者数は、73人で、前年同期と比較すると、**14.0%の増加**となっています。

事故の型別でみると「**転倒**」によるものが**最多**で全体の**32.8%**を占めています。また、年齢階層別でみると、**10～20代の若年労働者**による労働災害が**最多**で28件発生しており、次いで**60歳以上の高齢労働者**による労働災害が19件発生している状況にあります。

今一度、「お客様の安全」とともに「働く人の安全」にも意識を向けていただき、労使が一体となって労働災害防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

転倒災害を防止しましょう！

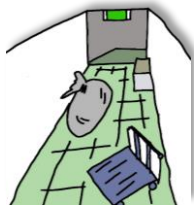
▼ 4S活動で労働者もお客様も笑顔に！

「整理」「整頓」「清掃」「清潔」で安全、健康な職場に

- 歩行場所に荷物や商品を放置しない
- 床の水濡れや油汚れはきちんと拭き取る
- 電気配線やケーブルをまとめ、通路を確保するなど



つまずき・転倒に注意を！



大阪労働局では「大阪発・新4S運動」を展開しています



大阪発・新4S運動

フォー S おおさか 君

「Safety」 「Satisfy」 「Shine」 「Smile」
安全 満足 輝く 笑顔



▼ 「危険の見える化」で転倒災害を防止

職場に潜む危険を可視化することで、より効果的な安全活動を行うことができます

- 危険マップの作成、危険ステッカーの掲示
- 危険行動の周知（掲示）
「両手に荷物を持った移動は転倒注意！」など
- 段差やつまずき危険箇所にテープを貼付し見える化



若年労働者の労働災害を防止しましょう！



【若年労働者労働災害の特徴】

- スキルの未熟さ
- コミュニケーション能力の未熟さ
- 予測力の未熟さ



【労働災害対策】

- 安全衛生教育を実施する
- 管理者による業務管理の徹底
- KY活動を実施する

安全教育にご活用ください

飲食店の労働災害を防止しよう
～飲食店における災害事例と防止対策～

大阪労働局
YouTube動画



飲食店における
労働災害防止マニュアル



労働災害防止のための
好事例集



高齢労働者の労働災害を防止しましょう！



エイジフレンドリーガイドラインに基づき、対策をお願いします。 →



① 職場環境の改善

- 身体機能の低下を補う設備等の導入
 - ・ 照度の確保
 - ・ 段差の解消、手すりの設置など
- 高齢者の特性を考慮した作業管理
 - ・ 作業時間、休憩時間の配慮
 - ・ 暑熱環境での配慮など

② 健康や体力の状況の把握・対応

- 体力チェックの実施
- 労働時間の短縮、作業の転換等

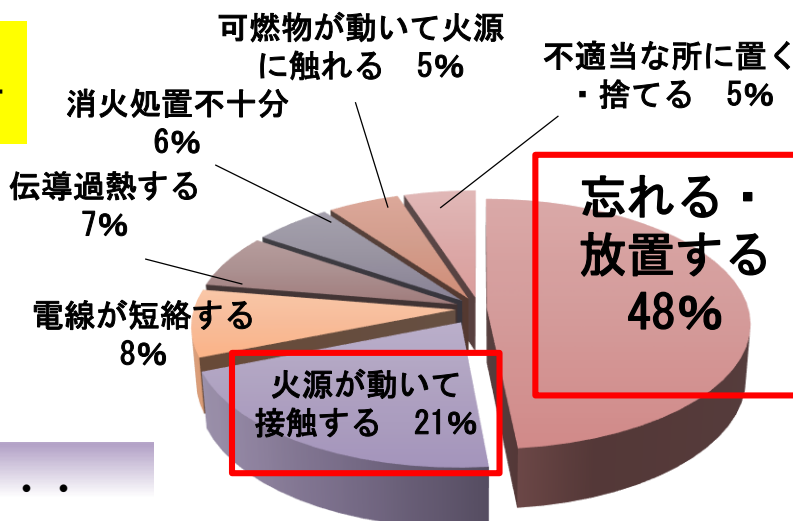
③ 安全衛生教育の実施

- 時間をかけ、写真や図、映像等の文字以外の情報も活用

飲食店での火災を予防しましょう！

火災原因のトップは
「忘れる・放置する」です

飲食店の厨房設備等からの火災は、調理中に火をかけたままその場を離れた結果、火災に至るといったケースが目立ちます。
【忘れる・放置する：48%】



**忘れる・
放置する
48%**

**火源が動いて
接触する 21%**

こんろ火災を防ぐためには・・・

点火したなら離れるな！

飲食店の火災に至った主な経緯
(令和元年～5年)